

第2章 施設機能

2-1 基本的な考え方

(1) 基本理念

(仮称)市民交流プラザ整備の基本理念について、「第1章 整備背景と目的」を踏まえ、以下のとおりとします。

ひと、まち、未来を元気にする 交流と学びとにぎわいの拠点

子どもから高齢者まで幅広い年層の市民や観光客が集い、活動、交流する中で、まちのにぎわいを生み、中津川市の魅力の発信と創造により、未来を担うひとづくりと活気あふれるまちづくりを推進する施設を目指します。

(2) 基本方針

○ 子どもたちの健やかな成長を支える施設

子育てにやさしいまちづくりと若者の地元定着の推進に向けて、子育てしやすい環境を整え、親子の育ちと子育てを支援する施設とします。

○ 市民の参加や活動からにぎわいが生まれる施設

子どもから高齢者まで幅広い世代が集い、様々な活動を通じて、人と人とのつながりを深め、まちのにぎわいを高める施設とします。

○ 情報との出会いと学びを新たな創造につなげる施設

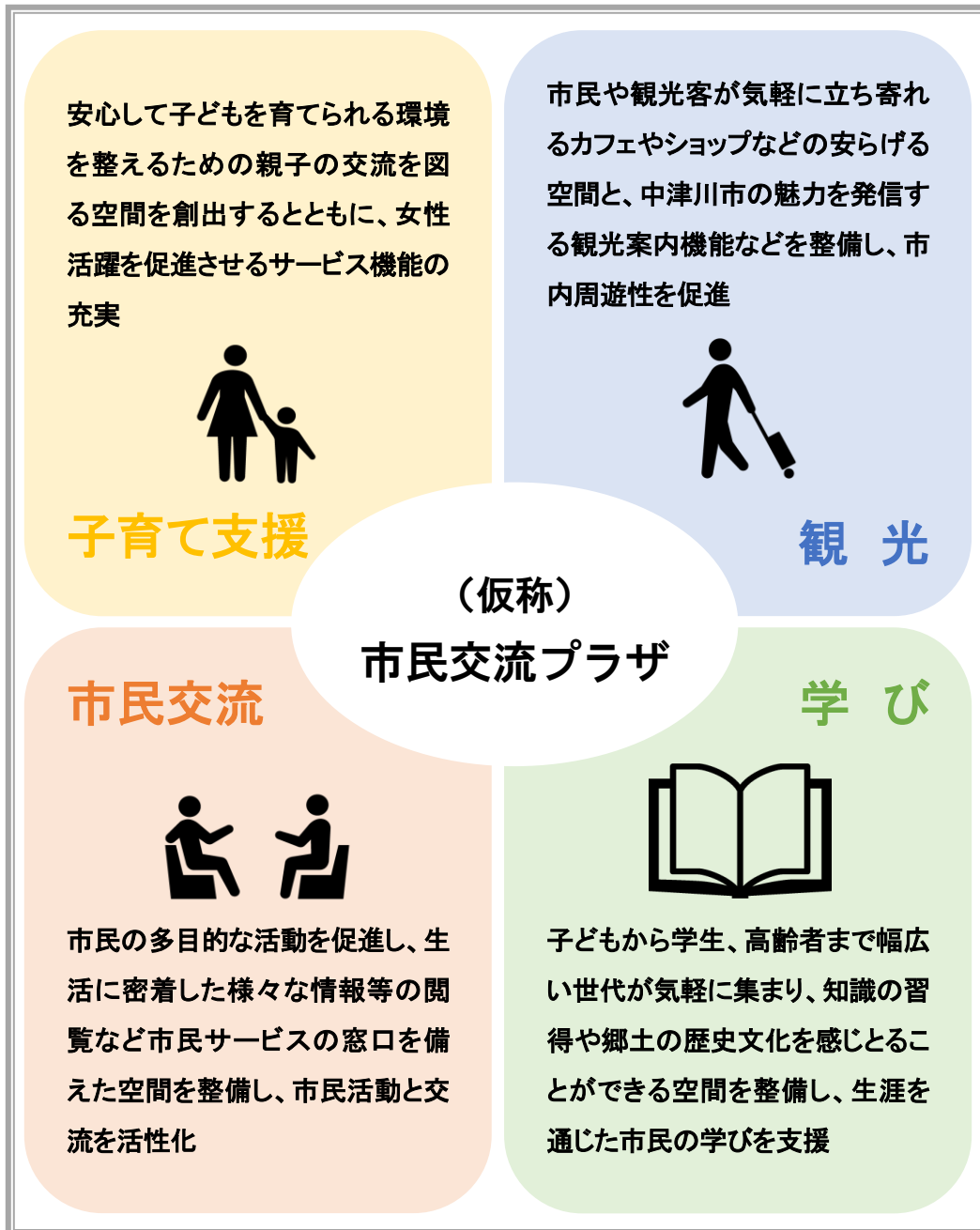
市民誰もが気軽に立ち寄れ、様々な情報や学びから豊かな暮らしや知識、創造力を育み、ひとづくりを担う施設とします。

○ 中津川市の地域資源と魅力を発信していく施設

地域の観光資源の情報発信や市民と観光客との交流を図り、中心市街地と市全域の周遊を促進する施設とします。

(3) 施設の機能

(仮称)市民交流プラザの機能について、「(1)基本理念」を踏まえて、以下のとおりとします。



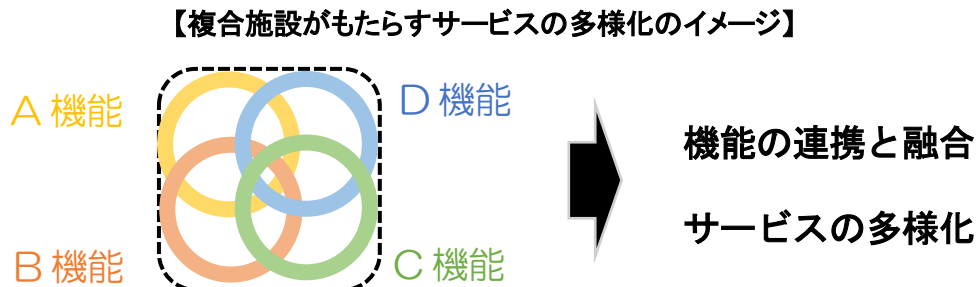
2-2 複合施設の特長と効果

市民の生活スタイルや情報が多様化する社会に対応して、異なった機能を持つ施設を一つの空間に集める複合施設は、市民の利便性を一層高め、より多くの市民に利用してもらえる施設を目指すことが可能となります。

複合施設の特長と効果については、次のことが期待されています。

(1) サービスの多様化

単独機能しか持たない施設で行える業務やサービスはある程度限定されますが、複数の機能を持たせ、それぞれの機能の連携、融合を図ることで、多機能化した業務、サービスを提供することが可能となります。



(2) 建設費、管理経費等の削減

単独機能しか持たない施設を建設する場合に比べ、老朽化した施設等を統合、複合化することによりライフサイクルコストの軽減化や重複する面積の削減を図ることが可能となります。

また、運営面においても、それぞれの機能のスタッフの連携や横断的な管理運営体制の構築により、少人数での効率的な管理運営が可能となります。

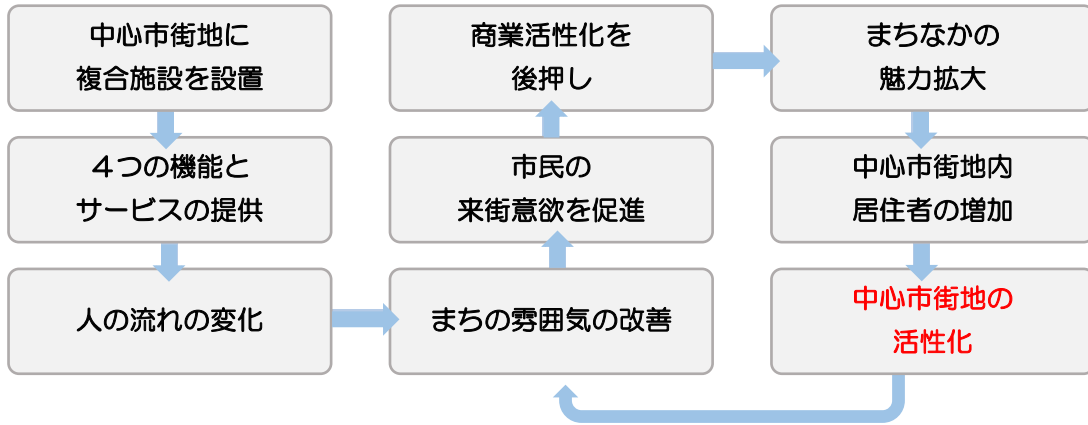
(3) アクセスの良い立地の有効利用

建設予定地である新町地区は、交通機関の結節点に近く、また駐車スペースが確保しやすいなど市民の利用においては好立地にあり、この恵まれた立地を単独機能の施設のためだけに利用するのではなく、複数の機能で有効に利用することにより、利便性の向上や新たな用地確保の負担軽減につながります。

(4) 中心市街地活性化への外的効果

効果的に市民を集めることができる複合施設の周辺には新たに多種多様な商業店舗の参入などが促進される期待もあり、中心市街地の魅力や利便性、住みやすさが高まることで、将来の居住人口の増加を図り、中心市街地の活性化につなげることが期待されます。

【複合施設がもたらす中心市街地活性化の外的効果イメージ】



(5) 複合施設内の内的効果

複合施設がもたらす施設内の内的効果としては、次の①広告的效果、②立ち寄り効果、③タイアップ効果、④ショーウィンドウ効果の4つの効果が期待されています。

【複合施設内の内的効果】

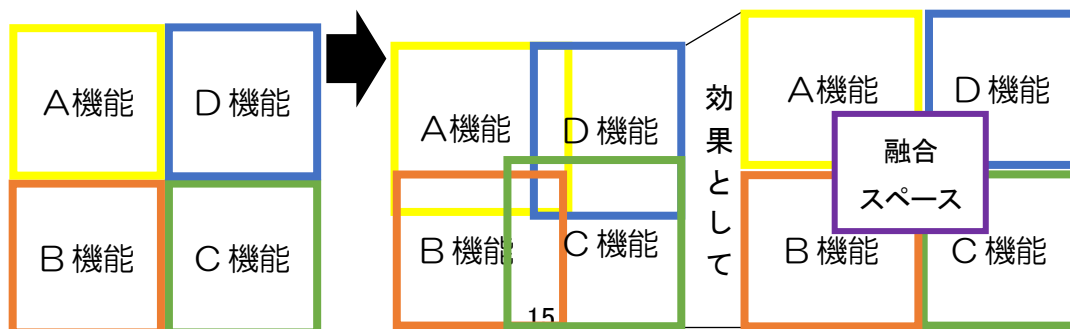
①広告的效果	施設の利用者に他の機能をPRする、いわば広告的效果が期待されます。
②立ち寄り効果	他の機能を目的として訪れた利用者がついでに寄っていく状況が想定され、利用者が長く滞在することが期待されます。
③タイアップ効果	機能同士でスペースを共有したり、協力して催しを行ったりすることで、効率的効果的なサービス提供が期待されます。
④ショーウィンドウ効果	他の機能の利用者が動線上のイベント空間を眺めながら、目的に向かうため、PR効果が期待されます。

(6) 限られたスペースの有効利用

限られた建設面積で複合施設内の異なる機能がそれぞれの機能を満たしたうえで、スペースを共有したり共同で利用したりすることにより、効果として無駄なく広く利用でき、新たなスペースの確保も可能となります。

【機能ごとに専有のイメージ】

【機能が融合したイメージ】



2-3 期待されるサービス効果

(仮称)市民交流プラザの「子育て支援機能」、「市民交流機能」、「観光機能」、「学び機能」が連携、融合する効果としては、以下の点が想定されます。

(1) 「子育て支援機能」×「市民交流機能」

子育て支援と地域づくりや社会教育の場としての市民交流とが連携することにより、子育て世代が市民活動に参加し、また市民活動団体が子育て支援に参加するなど、助け合いと多世代交流が期待できます。

(2) 「子育て支援機能」×「観光機能」

子育て支援と地域のイベント情報や観光情報、地域資源情報の発信とが連携することにより、親子で地域の活動やイベントに参加する機会を増やし、地元への愛着を育むとともに、市内のいろいろな場所での出会いと遊び方や過ごし方の創出が期待できます。

(3) 「子育て支援機能」×「学び機能」

子育て支援と児童図書コーナーや読み聞かせなど学びのサービスが連携することにより、幼少期における学習環境の充実が図られ、子育て世代や子育てを応援する人とのふれあい、助け合いと多世代交流など有意義な時間の過ごし方を数多く見出すことができます。

(4) 「市民交流機能」×「観光機能」

市民活動としての伝統文化や芸能活動の稽古や発表などと観光機能が連携することで、インバウンドで訪れる外国人観光客や国内の観光客への地域の文化や地域資源の発信になり、さらにイベントへの参加や体験を通じて、地域との交流によるつながりが期待できます。

(5) 「市民交流機能」×「学び機能」

本や情報を積極的に活用した新しい市民活動の展開が期待されるとともに、市民の生涯学習への意識や水準の向上につながります。

(6) 「観光機能」×「学び機能」

歴史、伝統、文化などの地域資源に関する様々な図書資料の収集と情報発信により、未来に向けた地域資源情報の蓄積と市民の深い学びや地域に対する理解、関心が高められます。

「(仮称)市民交流プラザ」利用者の1日 (イメージ)

子育て世代



夫の転勤で横浜から移住した専業主婦
20代女性Aさんと子ども1歳の平日

高校生



市内の高校にバスで通う高校3年生
10代男性Bさんの平日

大学生

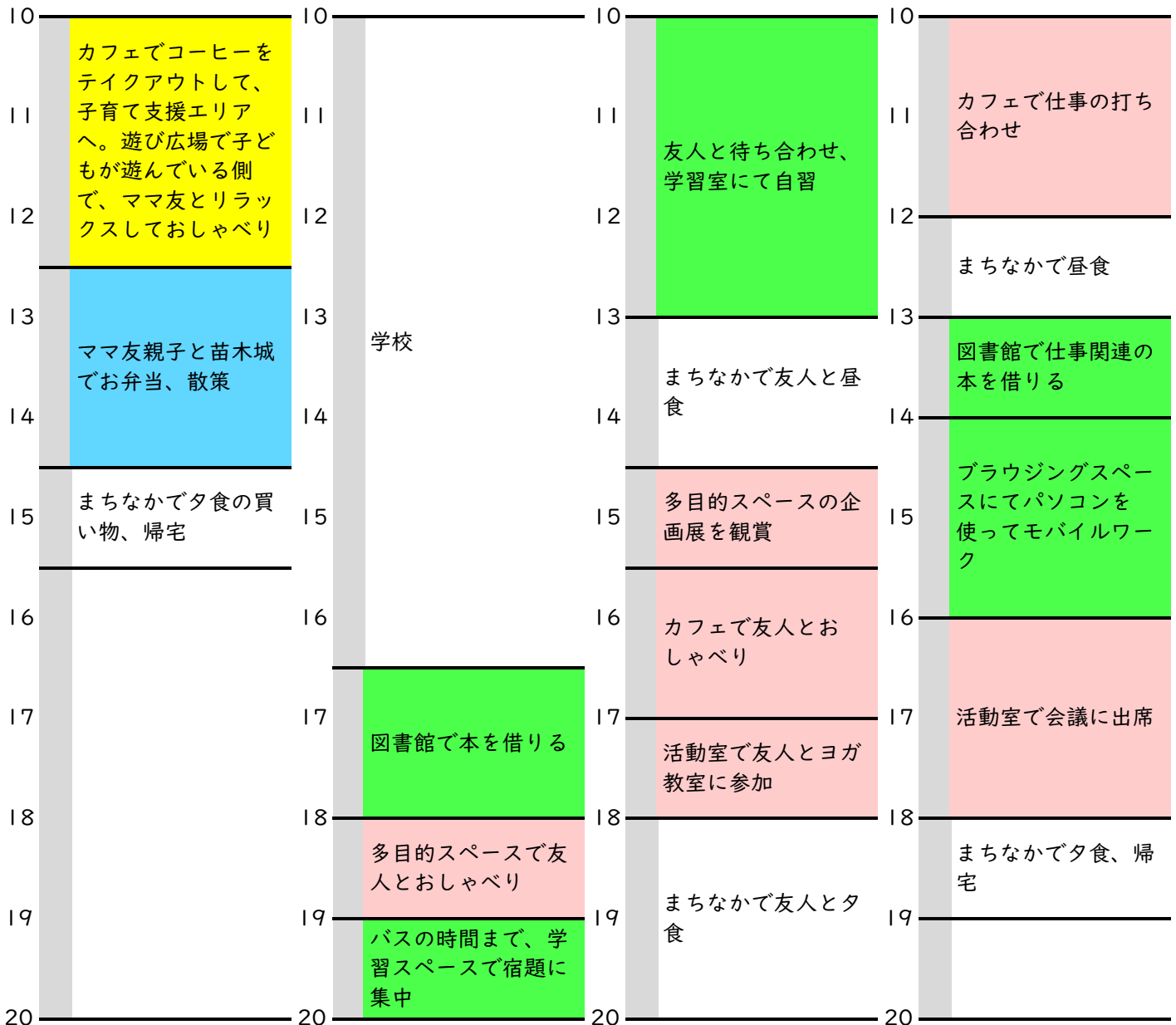


京都の大学に在籍・帰省中の大学2年生
20代女性Cさんの夏休み

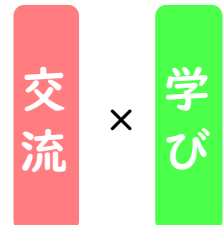
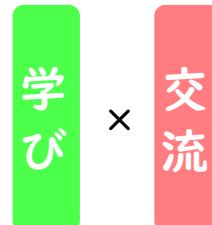
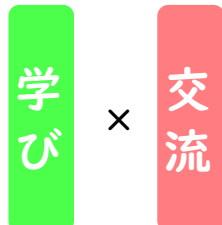
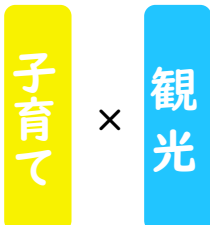
社会人



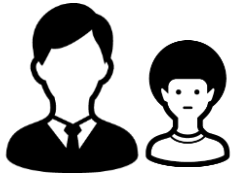
市内在住の会社員
50代男性Dさんの平日



つながり方



親子



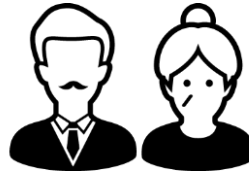
市内在住の会社員
30代男性Eさんと子ども5
歳の休日

社会人



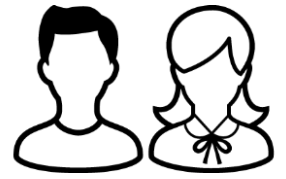
市内在住のパート勤務
50代女性Fさんの平日

高齢のご夫婦



夫の定年を機に名古屋市
から移住
70代G夫婦の平日

観光客



日本を観光旅行中のイギ
リス人夫婦
30代H夫婦の休日



つながり方
学び × 交流 × 子育て

交流 × 学び

交流 × 観光

観光 × 交流

2-4 導入機能のコンセプト・イメージ

I 子育て支援機能



子育て支援機能は、子どもたちが天候に関わらず全身を使ってのびのびと遊べる遊び場スペースと、親子同士の交流ができる交流スペース、子育てに関する相談や一時預かりサービスに対応したスペースなどを一体的に整備し、子育てしやすい環境の整備を図ります。

また、市全域の親子に継続的に利用してもらうため、交流イベントや子どもの成長に合わせた様々な体験・参加型プログラムを開催し、親子が気軽に訪れ、安心して楽しく時間を過ごすことができる空間づくりを目指します。

さらに、社会での女性活躍をサポートする様々な情報の発信の場として、子育て世代を支援するサービスの充実を図ります。

(1) 各諸室の概要

①遊び場スペース

親子で一緒に遊べ、親子の笑顔と笑い声があふれる遊びの空間を整備します。成長段階に合わせて子どもが体や頭を使い、ワクワク感、ドキドキ感、挑戦したいという気持ちを高められるような遊具や木のまちにふさわしい遊具などを配置します。

また、学び機能の児童図書コーナーとの連続性と一体性を図ることで、遊びと学びの両面で充実した時間が過ごせる空間づくりに配慮します。

安全に子どもが遊べるよう、柔らかい素材を使用した設備や備品の整備、子どもの目線や動線等から安全性や衛生面にも配慮した整備を行います。

②交流スペース

保護者同士の会話や親子で昼食などの時間を楽しむことができ、子育てに関する情報の交換や親子、親子同士の交流の場として整備します。

③子育て支援サービススペース

子育てに関する様々な相談や子どもの一時預かりに対応するサービスを設けるなど子育て支援の充実と、安心して親子が滞在できるようロッカー、授乳室、おむつ交換台、子ども用トイレなど必要な設備の整備を図ります。

また、女性の活躍を支援する就労に関する情報やセミナーの開催などのほか、入園・入学に関する教育情報や身近な暮らし情報など子育て世代にとって役に立つ情報が閲覧できるコーナーを設けます。

【遊び場スペース、交流スペースイメージ】



(2) 各諸室面積

(単位: m²)

諸室名称	面積目安
①遊び場スペース	約200
②交流スペース	約150
③子育て支援サービススペース	約130
合計	約480

Ⅱ 市民交流機能



市民交流機能は、市民の自主的・創造的な活動を支え、市民の交流の活性化が図られる空間づくりを目指します。市民が会議や打合せ、講演会のほか、ダンスやヨガ、健康づくりなどの軽運動系や文化活動などで利用できる活動スペースや、イベントの開催、待ち合わせなどを想定した多目的スペースは、将来的な活動の多様化にも対応できるフレキシブル性を持たせることとします。

また、諸活動の動きや様子がわかるようなオープンな空間づくりを心掛けることで、施設利用者同士の新たな交流や施設全体のにぎわい創出につながる施設を目指します。

諸室数、面積規模などは、にぎわいプラザの貸館諸室の実際の利用人数や活動内容、利用時間帯別の稼働状況等の調査を参考にして、新たな市民活動の参画など、市民活動の拡大も勘案して設定します。活動室などの貸室利用料については、他の施設等の運用を参考に適正な水準で設定します。

また、生活に密着した行政情報や地域情報の閲覧、市民サービスの窓口を配置し、市民の利便性の向上につなげます。

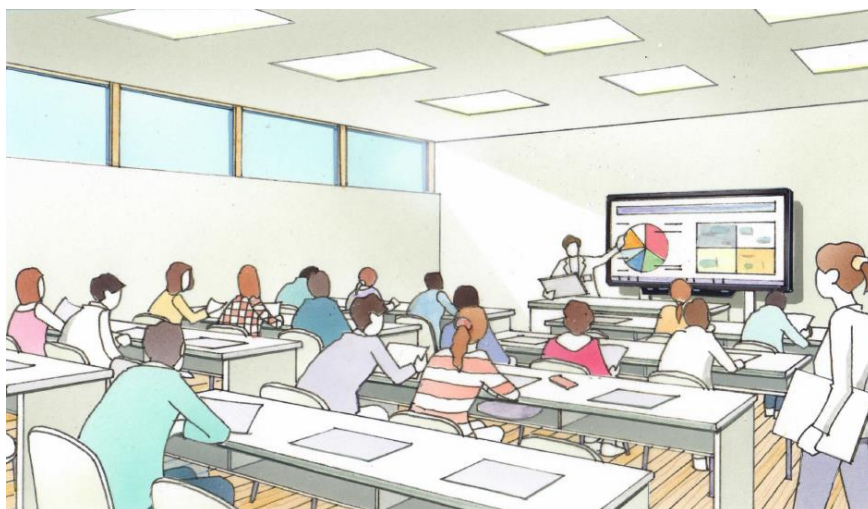
(1) 各諸室の概要

①活動室

会議や打合せ、趣味・サークル活動など少人数での利用のほか、各種講演会や講習会、セミナーなど多人数での利用にも対応できるよう、利用者数に応じた諸室規模と数量を配置するとともに、可動式間仕切りなどで柔軟な利用が可能となるつくりとします。

また、ダンスやヨガなどの軽運動系の活動や伝統芸能、茶道、華道の稽古や披露など文化、創作活動にも可能な空間づくりと設備を検討し、市民活動の一層の活性化を図ります。

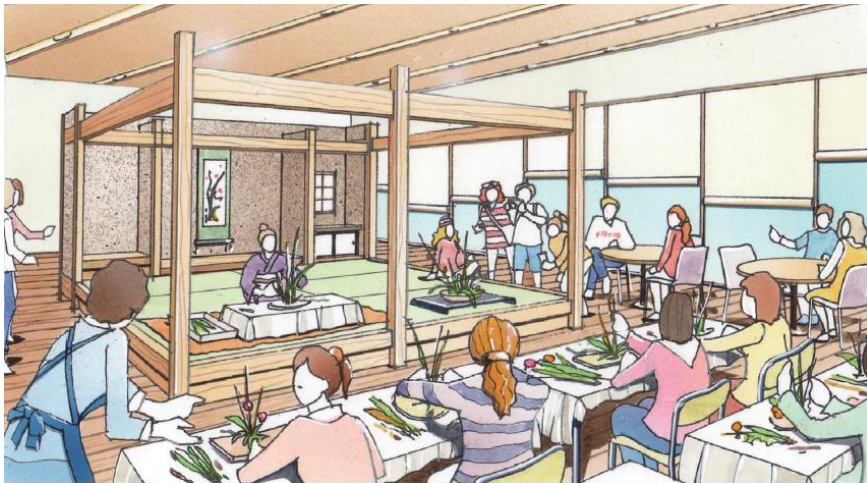
【活動室での会議風景イメージ】



【活動室での軽運動系イメージ】



【活動室での文化活動イメージ】



②多目的スペース

各種イベントやロビーコンサート、展示会、ギャラリーなどを想定して多目的に利用でき、多くの人が集まり、交流が生まれるスペースとします。イベント等が行われていないときは、友人とのおしゃべりや待ち合わせ、打合せ、生活に密着した行政情報や地域情報の閲覧など、利用者それぞれに様々な目的での利用が可能な、気軽に立ち寄れ、居心地の良い市民活動と交流の場とします。

【多目的スペースのイベント開催時イメージ】



【多目的スペースの通常時イメージ】



③市民サービススペース

生活に密着した行政情報や地域情報の閲覧、市民サービスの窓口を配置し、市民の利便性の向上につなげます。

(2) 各諸室面積

(単位: m²)

諸室名称	面積目安
①活動室 ・10人～100人程度の活動に対応する諸室面積と室数の確保 ・可動式間仕切りの採用の検討	約650
②多目的スペース	約200
③市民サービススペース	約30
合計	約880

Ⅲ 学び機能



学び機能は、子どもから学生、社会人、高齢者まで幅広い世代が気軽に立ち寄り、人が集まり、新しい知との出会いと楽しみを備えたスペースづくりを目指します。

特に、児童図書コーナーや中高生のための居場所空間、学習に集中できるスペースなどの整備により、子どもや若者も利用しやすい魅力ある空間づくりを目指します。

また、基本的な図書の貸出機能や蔵書の充実だけでなく、情報化やグローバル化の時代に対応したソフト・ハード両面の整備や郷土の歴史・文化などに関する資料の蓄積と情報の発信を行うなど、市民の幅広い知識の習得と生涯を通じた学びをサポートする施設とします。

(1) 各諸室の概要

①書架・閲覧・展示スペース

1) 一般書架

目当ての本や情報に迷わず最短でたどり着けるサポート

- ・書架の並び方、案内サインなど、目当ての本を探しやすくする工夫
- ・本を取りやすく戻しやすい書架と管理にも配慮した配置
- ・図書貸出の自動化と検索システムとの連動に対応した図書の配置
- ・表紙だしやジャンル分けなどにより、本の位置をわかりやすくする工夫

見通しがよく、統一感とデザイン性がある使いやすい書架空間

- ・一般書架フロアは家具等を含めて、統一感ある色調とデザインで構成
- ・書架はできるだけ低くして、見通しよく開放感を効果的に演出
- ・閲覧用椅子などに機能性のある家具の導入

本との新しい出会いをサポートするサービス

- ・新刊コーナー、話題本コーナーなどの設置
- ・生活、時事などトピックスに関連した市民に読んでほしい本の紹介
- ・司書力を発揮し、蔵書の中から市民に勧めたい本の発掘と紹介、発信

地域や全国、海外で話題となっている本や情報の発信

- ・展示コーナーでの、地域や全国、海外での話題に焦点をあてた本やトピックスなどの情報発信
- ・映像や写真や新聞記事、地域ミニコミ紙などを活用した情報発信

【書架・閲覧・展示スペースのイメージ】



2) 児童図書コーナー

子どもたちが本に親しみ、楽しく過ごせる空間

- ・子どもたちが目的の本を探し出し、じっくり読める場所
- ・親子でワクワク楽しく本と親しめる空間
- ・子どもたちがいつも来たくくなるような児童書の充実
- ・読み聞かせや紙芝居、お話会などができる空間
- ・幼児たちが大きな声を出しても周りに迷惑にならない空間
- ・子どもたちが遊具などを通じて遊びや交流活動ができる空間
- ・明るく、優しい、楽しさのある空間づくり

3) 小中高生向け図書コーナー

若者のライフスタイルや感性に合わせた空間

- ・休日や帰宅後などに小学生から中学生、高校生、大学生が気軽に立ち寄れる空間
 - ・多少の談笑は許容され、友人との学習やコミュニケーションがはずむ空間
 - ・漫画やライトノベルブック(※注)など、中学生、高校生向けの多様な図書の充実
- ※ライトノベル: 若者向けに読みやすい文体で書かれた小説

4) ブラウジングコーナー

利用者がくつろいでリラックスできる情報収集空間

- ・多様な椅子を配置してお気に入りの席を選べるくつろぎ閲覧空間
- ・新聞や雑誌をゆったりと読んだり、スマートフォンやタブレットを見たりして、自分だけの時間をリラックスして過ごせる空間

くつろぎ感と魅力づくりのためのカフェ

- ・コーヒーやジュース、軽食など、利用者がくつろいで滞在するための飲食提供
- ・地産品や利用者のニーズに応じた商品販売の研究

暮らしに関わる身近な情報が得られる場所

- ・多種類の新聞や雑誌、情報誌が閲覧でき、欲しい情報が入手できる場所
- ・中津川市の暮らしに関わる情報や行政各分野の情報が入手できる場所

【ブラウジングコーナーのイメージ】



5) 郷土資料コーナー

中津川市の歴史・文化・地勢・自然などに関する情報の発信

- ・郷土の誇るべき先人や賢人を紹介する資料の展示
- ・地域資源となる多様な資料や合併から現在までの地域の成り立ち等を紹介する資料の公開
- ・伝統芸能や地域行事、中津川市の歴史文化資料のデジタルアーカイブスの検討

②学習スペース

静かに集中できる学習スペース

- ・学習や調べものに集中できる専用学習スペースの設置
- ・十分な席数とWi-Fiや照明など学習をサポートする設備
- ・パソコンの音が周りの迷惑とならないための専用席の配置
- ・高校生や大学生だけでなく、大人の仕事などでの利用も考慮した設計

グループでの学習やディスカッションができるスペース

- ・学習支援や生涯学習の場としてのラーニング・コモンズ(※注)の空間

※ラーニング・コモンズ:学生の学習支援を意図した場所で、情報通信環境が整い、自習やグループ学習用の家具や設備が用意された開放的な学習空間

③受付・管理スペース

1) 事務所・作業スペース

職員がサービスしやすく、安心して働ける作業環境

- ・職員の作業動線を意識した各スペースの配置

- ・学校や各施設への配本に必要な作業スペースと書架スペース
- ・職員更衣室、休憩室などの検討
- ・障がい者用の点字図書作成や図書朗読、録音作業スペース

2) レファレンスカウンター

図書情報の様々な相談に対応する窓口

- ・貸出に関するサービスを始め、図書館の利用や資料情報に関する相談などへの対応
- ・利用者からの図書や情報に関する問合せ対応や資料案内など充実した業務窓口

3) 書庫

効率的に空間を活用した蔵書スペース

- ・必要な収蔵数と将来に向けた資料の保存に対応するスペース
- ・安全性、効率性に配慮した空間設計

(2) 各諸室面積

(単位:m²)

諸室名称	面積目安
①書架・閲覧・展示スペース	約1,740
②学習スペース	約250
③受付・管理スペース	約470
合計	約2,460

IV 観光機能



観光機能は、鉄道、バスなどの交通機関の結節点に近く、中山道沿いといった施設の立地条件を踏まえ、観光客が気軽に立ち寄れ、中津川市の観光や地域資源に関する情報の提供と中津川市の魅力を発信する観光案内機能を整備し、市内周遊の促進を目指します。

また、カフェやショップを配置し、施設利用者や観光客が寛いで自由な時間を満喫できるような空間づくりとサービスを提供します。

(1) 各諸室の概要

①情報発信スペース

市内の観光情報やイベント情報などを映像、音声などを用いて発信する空間とします。ここでは中津川市の魅力や様々な情報をわかりやすく案内します。

②ギャラリースペース

中津川市を様々な角度から紹介し、観光客や市民にその魅力を発信していく空間とします。中津川市は偉人と呼ばれる人物を多く輩出し、また特長ある伝統文化、歴史、ものづくり、自然が根付くなど、他に発信すべき優れた地域資源を数多くもっています。これらの地域資源を映像や資料などで深く紹介し、観光客や市民に魅力を発信します。

③カフェ・ショップ

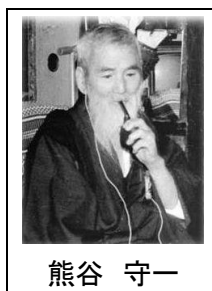
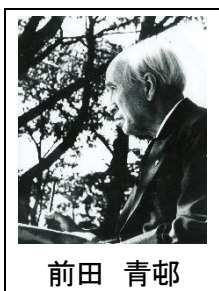
カフェ・ショップは、施設内での癒しや憩いにつながる自由な時間を過ごせる空間づくりを目指します。

導入にあたっては、様々な形態が想定されますが、サービス、採算性、効果、メニュー、施設内の機能の連携などを考慮し、最適な導入形態を検討します。

④観光案内スペース

パンフレットやチラシなどの閲覧や人的な観光案内支援の窓口として、市内周遊の促進を図ります。

【参考 中津川市の偉人の例】



【参考 中津川市の地域資源 例】



中山道



地域の伝統芸能



地域の歴史



地域の文化



地域のものづくり



地域の自然



地域の祭りイベント



地域の天然記念物

(2) 各諸室面積

(単位:m²)

諸室名称	面積目安
①情報発信スペース	約40
②ギャラリースペース	約100
③カフェ・ショップ	約50
④観光案内スペース	約30
合計	約220